

1 防災・消防・安心安全について

東日本大震災から6年が経過し、磐田市の震災前と震災以後のハード面・ソフト面の変化について伺います。

(1) 防災体制について

防災組織体制の変化について

磐田市において防災組織がどのように変更されたのかを伺います。

公共建築物・ライフラインの耐震の変化について

東日本大震災、以前と以後での変化、及び現状と課題を伺います。

(2) 海岸防潮堤について

海岸防潮堤の進捗状況と今後の計画、計画より工期を早めるために必要な取り組みや課題を伺う。

本市と同様に静岡モデルとして取り組む中東遠の他地域との相違点を伺う。

(3) 新たな消防庁舎施設整備計画の策定、推進について

磐田市消防署の老朽化に伴い、新消防庁舎施設整備に関することについて近年協議検討されていますが、進捗状況について伺います。

(4) 自主防災会への資機材の整備について

日本各地で自然災害が多発し、南海トラフ大地震が懸念される中、自主防災会への資機材整備について伺う。

可搬ポンプの更新、修繕の現状と課題を伺う。

救助用資機材の整備状況と課題を伺う。

2 交流センターの地域活動拠点について

活力ある人づくり地域づくりの中で今後、交流センターが地域の活動拠点として重要な位置づけになります。

活動拠点にするにあたり伺います。

(1) 地域活動拠点の機能・設備・利用について

交流センターの機能について

行政の身近な窓口として現在どのような業務を現在受け付けているのか、そしてその状況はどのようになっているのかを伺う。

交流センターの設備について

各センターの利便性が問われると思うが設備面の今後の考えを伺う。

交流センターの防災機能について

地区を中心とした災害時の情報収集も可能となりますが、今後の交流センターの防災機能について伺います。

(2) 市内活動団体について

磐田市内の様々な活動団体と地域が協働を図っていき、その活動が生かされる事が大切と思い伺います。

市民活動センター「のっぽ」で相談窓口として行っていくのか、そしてその方向性を伺います。

講師等の斡旋や団体の活動内容の紹介の仕組み、また、今後の活用方法について伺います。